

かわかみ よしや
川上 喜也 21才 水道局水道課

中学生の頃から夢だった市役所に就職することができても嬉しく思います。卒業後、自衛隊員として2年間就職していたので、自衛隊で鍛えた体力で市役所でも頑張っていきたいです。



しんぐ だいじろう
神宮 大司朗 22才 総務企画部 管財課

昨年まで大学生で、経済学部地域政策学科に所属し、地域の抱える問題や、問題解決のために勉強してきました。その力を生かし、市民のため、市のために力になれる様頑張ります。



あんじゅう たけし
安重 武志 28才 総務企画部 地域振興課

対馬に帰って来るのは十数年ぶりですが住んでいた時よりも随分さびれたなあというのが印象です。これから対馬市の職員として、どうかしてこの対馬を盛り上げていきたいと思います。一所懸命がんばります。



はら ようすけ
原 陽佑 19才 福祉保健部 北福祉保健センター

対馬の市民の皆様のために、一生懸命頑張りたいと思います。部活はパスケをやっていたので、その部活時代に鍛えた根性と体力で、精一杯頑張っていきたいです。



新人さん
本年度、採用された市の職員を紹介いたします。よろしくお願ひします。

くさば としひこ
草葉 俊彦 25才 観光物産 推進本部

韓国の大学に留学して、日本と韓国の文化の違いなどを学んできました。これをこれからの対馬と韓国、また日本と韓国の交流などに生かしていきたいです。



まつばら ゆうや
松原 勇矢 19才 美津島地域活性化センター 住民生活課

対馬高校卒業後、すぐに就職することができました。若輩者ですが、少し目をつぶってください。がたいが大きいのでダイエットにも頑張っていきたいです。



にのみや はるか
二宮 悠 22才 福祉保健部 健康保健課(保健師)

保健師として豊玉で働くことになりました。市民の皆さんと深く係わりながらたくさん話しながら保健師として頑張っていきたいです。



はたの けんいち
波多野 健一 24才 福祉保健部 福祉課

対馬を離れて学んだことを、今までお世話になった皆様方に貢献できる様頑張っていきたいです。対馬市職員として当たり前の事はやっただけで自分の個性を生かしてしっかりと頑張っていきたいです。この自然豊かな対馬に笑顔で接していきたいと思ひます。



平成21年4月1日付けで対馬市の人権擁護委員に就任された松村さんです。人権意識の向上の為頑張っていきたいと抱負を述べられていました。これからもよろしくお願ひします。



美津島町 雑知 松村 顕幸さん

就任



美津島町 雑知 西山 悦子さん

退任

平成5年11月より5期に渡り人権擁護委員を務めてこられました。人権擁護委員として気楽に相談をしていただけるように常に心がけた。という西山さん。長い間本当にありがとうございました。

人権擁護委員が 変わります。

わがまち再発見!!

シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

志賀窯跡



志賀鼻遠景

江戸時代、対馬藩は朝鮮半島の釜山に倭館窯（釜山窯）と呼ばれる窯を置いていました。この窯で作った焼き物は茶道で重用され、人気がありました。一方島内では明暦3年（1657）から窯を開き、操業を始めまし

た。島内の窯には小浦皿山窯、久田窯、志賀窯、立亀窯、阿須窯、小浦窯などがあり、現在は総称して対州窯と言います。これらの窯は藩が直接操業したり、個人が藩の助けを受けて営んでいました。

古文書などで名前が知られている窯のなかで、その場所がはっきりと分かっているものは少なく、志賀窯と立亀窯の二つしかありません。この二つは「志賀窯跡」「立亀窯跡」という名前で遺跡として登録されています。志賀窯は厳原港を東に望む久田道の志賀鼻という丘陵地の山側に開かれていました。しかし道路整備のほかに開発によって大きく地形が変わり、今は窯跡を確認することはできません。ただ志賀鼻を通る道路の切り出し斜面など土が露出した部分で陶磁器の破片や窯道具など窯に

関連する遺物を見つけることができます。

志賀窯は対州焼の拠点として享保10年（1725）から断続的に100年以上に渡って営まれてきましたが、ここで焼かれた志賀焼は国内だけでなく朝鮮にも輸出をするなどなかなかの人気商品だったようです。



志賀鼻を通る道路（写真左の山手側に窯があったと考えられる）



志賀窯出土遺物

志多賀を住宅防火モデル地区に



4月5日、峰町志多賀地区に、多くの地区住民が参加し対馬市住宅防火モデル地区指定書が交付された。

対馬市消防本部が住宅火災による死者の減少を目指し、住民の防火意識並びに自主的な防火対策の高揚を図るため住宅防火モデル地区として指定したもので、対馬市では10カ所目、峰町では初めての指定です。

山根延生区長は「自分たちの生活圏は自分たちで守り、火災を出しません」と力強く挨拶され、参加者全員で無火災を祈念し「火の用心」を三唱しました。

今後は防火教室・消火訓練、住宅用防災機器の普及など重点的に行う予定です。